

1年半振りのリヤド・シーズンが開幕

10月20日、75万人以上の観客が開会式に集まり、リヤド・シーズン2021が開幕した。開会式ではアメリカの有名歌手ピットブル（Pitbull）のコンサートに加え、2,760台以上のドローンを使って夜空にサルマン国王とムハンマド皇太子の顔を描くなど豪華な演出が続いた。リヤド・シーズンを運営する総合エンターテインメント庁（GEA）のトゥルキ・アル・シェイク長官も「世界を旅する代わりに、我々GEAが「世界」をここリヤドに持ってきた」と開会挨拶にて誇らしげに語った。リヤド・シーズンは、ビジョン2030にも挙げられている「エンタメ産業の確立」という国家目標をまさに具現化するもの。その期待値の高さからか今回のリヤド・シーズンでは前回よりもイベント・ゾーンが拡大し、14カ所にて7,500件以上のイベントを2022年3月まで開催予定である。

大混雑するブルバード（Boulevard）で楽しむサウジ人達

ブルバードとは、リヤド北西部ヒッティーン地区に設けられた総合エンタメ野外施設で、敷地内には噴水ショーや屋内外の遊園地、スケート場、巨大滑り台、サウジ人デザイナーによるブティック、市内未進出の期間限定レストラン、子犬とのふれあいコーナーなどが設けられている。週末に実際に訪れると、家族連れをはじめ、大勢の着飾った若者で賑わっていた。広い敷地を歩き回ると、サウジ人アーティストによるウォールアートを楽しむ通行人やサウジ人と思われるDJが流す欧米の流行曲に合わせて踊る男性達、ギターを弾くサウジ人などを見かけ、各々がエンターテインメントを楽しんでいる様子が伺えた。そこには数年前まで公共の場で音楽が禁じられていた過去のサウジの姿は微塵もなかった。ブルバードでは毎週末の様に中東各国の有名歌手によるディナーショーも開催されているほか、別のエリアでは世界的有名歌手のコンサートが何件も予定されている。「リヤドに「世界」を持ってきた」というアル・シェイク長官の言葉通り、これ程の短期間で域内外から大勢の有名歌手を呼び寄せ、同時に大規模イベントも複数開催する都市は世界でも稀なのではないだろうか。リヤドの改革に対する本気度が伺えるリヤド・シーズン2、3月までの残り約5か月でどれ程の盛り上がりを見せるのか目が離せない（2021年11月）。



リヤド・シーズン2の様子（日サビジョンオフィス撮影）

お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: 5th Floor, Council of Saudi Chamber Building, Riyadh 11614

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>